



平成28年 9月 1

南山城村 議会議長 廣尾 正男 様

南山城村 議会議員 齋 藤 和 憲



一般質問通告書

次の通り通告します

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1、メガソーラー開発について	<p>今年1月にメガソーラー開発の説明会が行われ、開発についての意見書が議会や自治会、そして個人から出されましたが、それらに何ら答えず、5月27日に今までの計画を破棄し、業者は新しい計画を出してきました。本来ならば、大幅に計画を縮小する等、誠意を示すべきだが、逆に、山を削るだけではなく、谷も埋め、従来の砂子田川を潰す等、もっと悪くなっています。京都府も事業者が新しい計画を出してから、2ヵ月立つがいまだ受理していない。</p> <p>村の自然を、未来を担う子どもや孫に残すために、次の質問します。</p> <p>① 今迄、「法的根拠がない」と何も対応しなかった村だが、今回の計画は、村管理の準用河川を潰す計画になっている。村の対応を聞きたい。</p> <p>② Fsj Pr.6の自主的環境アセスでも希少生物や府の天然記念物指定生物の生存が確認されている。これは村だけではなく、京都府、日本の宝・文化的財産だ。これでも法的根拠がないとして、村は何もしないのか</p> <p>③ 業者は20年後はパネルを撤去して返還すると言っているが絶対の保証はない。転売もあり得る。放置されると最終的には村が撤去しなければならない(専門家試算では最低でも20億円)。村はこうした場合に、どう対応するのか。今からきちんとして業者を指導し、保障を取るべきではないか。</p> <p>④ 村の財産である、自然や希少生物を台無しにする開発計画に対し、村は法的根拠がないから何も出来ないに対応しない。6月議会で村長自身もこのままではいけないと言われている。対応できるように条例を作るべきではないか</p>	村長
2 養豚場の悪臭対策について	<p>最近、豚の悪臭がひどい。特に明け方の匂いは、対策以前に戻ったようだ。住民からも「今までは少しは良くなったのに、最近は対策以前と同じだ。このままではこの地域には住めない。」とたくさんの人から何とかして欲しいとの要望が出ている。私は匂いのない、住みよい環境にするため、次の質問をします。</p> <p>① 住民からは豚の悪臭で苦情が村には来ていないのか。</p> <p>② 村は匂いの現状を認識しているのか、又 原因は判っているのか</p> <p>③ 4月から臭気低減飼料の増量、脱臭装置の追加されている。この成果が出ているのか</p> <p>④ 抜本的対策に向けて、現状対策以外に何か考えているのか</p>	村長
3 村の防災について	<p>最近の風水害は想定を超えた被害状況になっている。様々災害を教訓にして村の防災を取り組むために、次の質問を行う。</p> <p>① 9月1日の防災訓練は目的通り、実施出来たか確認したい</p>	村長

(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載してください。(議員必携150ページ参照)
2 質問の相手は、村長、行政委員の長または監査委員とします。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
3 村の防災について	<p>② 防災ハザードマップの避難施設場所は問題がある。見直しが必要ではないか</p> <p>③ 各区の防災組織に対し、村としてどのような援助をしているか</p> <p>④ 優先的に支援する為に、避難弱者のリスト提供はできないか</p> <p>⑤ 村の対策本部が被害を受けた場合、その代替場所。仮設住宅建設場所の準備は出来ているのか確認したい。</p>	
3 水道工事後の舗装について	<p>水道工事後の舗装について、次の点を質問をしたい</p> <p>① 中央簡水の水道管工事した年月を確認したい。又 工事後の舗装状況を確認したい</p>	村長